

学会活動報告

日本スポーツ栄養学会 研究プロジェクト・パイロット study 報告

高田 和子^{*1}、木村 典代^{*2}、香川 雅春^{*3}、岩本 紗由美^{*4}、横道 渉^{*5}、井上 瞳^{*6}、
佐藤 愛^{*7}

^{*1} 東京農業大学、^{*2} 高崎健康福祉大学、^{*3} 女子栄養大学、^{*4} 東洋大学、^{*5} 自衛隊体育学校、
^{*6} 高崎健康福祉大学大学院、^{*7} 立命館大学大学院

学会年度の2017～2020年度（2017年6月から2021年5月）に実施中の学会研究プロジェクトのパイロット study「日本人アスリートの身体的特徴と食習慣・食環境」について、11月27日現在の状況を報告する。この研究では、共通した調査票を使用した食環境や食習慣に関する調査と身体計測を実施している。本プロジェクトは、現在7名のコア・メンバーと担当理事（亀井明子）が主となり、会員の皆様に参加いただいて、実施している。

昨年度の本誌において2019年11月末現在の状況として5チームでの調査終了と報告したが、その後、調査を継続し2月16日までで合計17チームにおいて調査を実施した。しかし、COVID19の感染拡大を受け、2月16日以降に予定していた調査は中止した。

社会情勢を鑑みながら調査を中断したままにしていたが、2020年7月27日にコア・メンバーにより会議を行い、研究計画の見直しを行った。その結果、調査票による調査については、対面での説明・同意等を行わずwebでの調査を主とし、広く会員に向けて協力の依頼をすることとした。また、身体計測については、計測時の感染予防の手順について整理し、可能な範囲で学会年度末（2021年5月31日）まで測定を行うこととした。これに伴い、調査実施方法の変更の倫理申請、web調査の準備を経て、10月8日付のホームページ及

び10月19日配信のメールニュースにおいて調査協力者募集を開始した。その結果、11月26日現在で、中断以前の調査実施数209名、再開後の調査実施数218名となっている。現時点では、12月末まで調査を継続し、最終的に750名以上を目標としている。（この原稿作成時点で、最終の調査を1月末に延長することも検討中のため、興味のある方は学会ホームページ、ニュースレター等を確認されたい。）

このプロジェクトの目的の1つは、調査・測定を行うことで、会員が使用できる調査票の開発や身体計測などのデータベースの作成することである。しかし、もう1つの目的として、本研究に参加した会員の方が、自分のチームのデータをもとに学会発表や論文発表をすることを支援することも目的としている。2020年12月末までのweb調査及び2021年5月末までの身体計測の実施後には、全体のデータについてコア・メンバーによる論文を学会誌に投稿予定である。一方で、本研究に参加された会員の支援も開始する予定である。現時点で、すでにプロジェクト開始当初に測定をした会員の方には、公表にむけての支援を開始している。プロジェクトに参加した会員の方には、今後、ぜひ、学会発表や論文発表にチャレンジしていただきたい。



連絡先：〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1
E-mail: kt207460@nodai.ac.jp